

国語 第5学年 登場人物の心情の変化に着目して読み、物語のみりよくを
伝え合おう
検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：大造じいさんがガンを見る目の変化を、前後の行動や情景を比べて考え、物語のおもしろさを紹介する。人物がよい人か悪い人かという判断に固定せず、なぜ見方が変わったと考えられるのかを確かめる。C(1)力の学習として、物語のおもしろさの紹介文。人物の見方の変化、根拠となる行動や情景、自分が魅力を感じる理由、交流で加わった考えを書く。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、人物の心情の変化から考えた物語のおもしろさを伝え合い、友達の根拠や見方を受けて自分の考えを広げているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)力の姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：物語のおもしろさの紹介文を残す。人物の見方の変化、根拠となる行動や情景、自分が魅力を感じる理由、交流で加わった考えを書く。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)力に関わる学習の中身を確認する。

指摘 4：難しさのある児童にはどんな支援をするか。

返し：最後の行動だけで人物像を決める。自分の狩猟への賛否に話題がそれる。これについて、前半と後半の行動を並べ、問の出来事を矢印で結ぶ。情景から想像した場合も、その言葉のどの言葉から考えたかを確認する。同じ根拠から異なる解釈が出たら両方を残す。〔知識及び技能〕(1)オとC(1)力を切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「大造じいさんがガンを見る目は、初めと終わりでどう変わったと思いますか。その変化を生んだ出来事は何ですか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)力に関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：物語のおもしろさの紹介文は紙に記録できる。人物の見方の変化、根拠となる行動や情景、自分が魅力を感じる理由、交流で加わった考えを書く。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)力の評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)力で目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：狩猟の是非を議論するのか。

返し：C(1)力のために共有するのは、この物語の叙述を基にまとめた意見や感想である。一般的な賛否に移った場合は、人物の行動をどの場面からどう読んだかに戻る。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「大造じいさんがガンを見る目は、初めと終わりでどう変わったと思いますか。その変化を生んだ出来事は何か」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)カに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

